

2014年6月4日

報道関係各位

NTT 都市開発株式会社
大成建設株式会社
ヒューリック株式会社
東京都市開発株式会社

「品川シーズンテラス」上棟のお知らせ

～新たな国際ビジネス拠点へと発展する品川に誕生する
広大な緑地を備えたオフィス・商業の複合開発～

NTT 都市開発株式会社、大成建設株式会社、ヒューリック株式会社及び東京都市開発株式会社が東京都港区港南一丁目において計画を進めております「品川シーズンテラス」が、本日 2014年6月4日に上棟いたしました。

品川シーズンテラスは、品川駅からの交通の利便性に加え、リニア中央新幹線の始発駅や品川一田町間に山手線新駅の設置が決定するなど、将来性が高まる品川エリアにおいて、新たな国際ビジネス拠点のランドマークとなることを目指し、2015年2月予定の竣工に向けて開発を進めています。



※2014年5月撮影

以上

計画の概要・特徴は、別紙および公式サイト <http://www.shinagawa-st.com> をご参照下さい。

<本件に関するお問い合わせ先>
NTT都市開発株式会社
広報・マーケティング室
(03)6811-6241

(別紙)

1. 建築計画の概要

所 在：東京都港区港南一丁目2番6（地番）

主要用途：事務所、店舗、集会場、駐車場等

敷地面積：49,547.86 m²

延床面積：205,785.83 m²（下水道施設を含む）

階 数：地下1階、地上32階

構 造：鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造、免震構造

駐車台数：369台

設計監理：株式会社NTTファシリティーズ、NTT都市開発株式会社、大成建設株式会社、
日本水工設計株式会社

施 工：大成建設株式会社

竣 工：2015年2月末（予定）

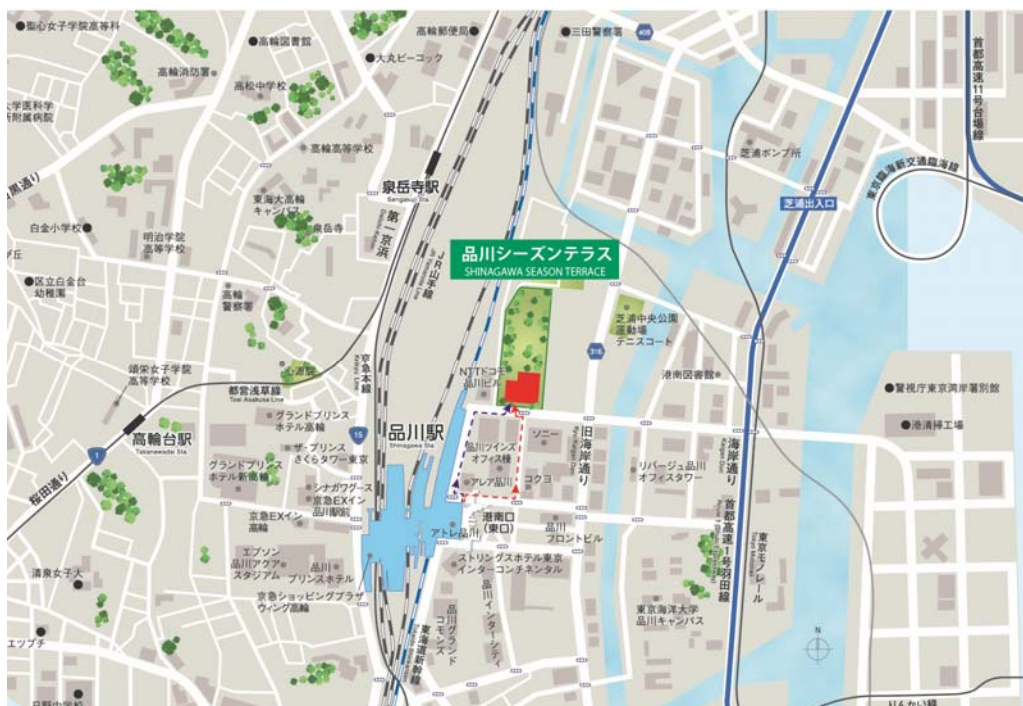


(23階相当からの眺望)



※掲載の眺望写真は2012年9月に現地周辺のビルから撮影したものです。

(位置図)



2. 計画の特徴

(1) 国内、そして世界へつながる交通アクセス

本ビルは、東海道新幹線をはじめJR・私鉄各線あわせて多数の路線が乗り入れる品川駅から徒歩6分の立地です。国際化の進む羽田空港へのアクセシビリティにも優れています。

品川エリアではリニア中央新幹線の始発駅や品川ー田町間の山手線新駅の設置など、東京の南の玄関口としてますますの発展が期待されます。

(2) ふれあいやにぎわいを生み出す 3.5ha の緑地

本ビルでは、オフィスビルが立ち並ぶ都市の中に、エリア周辺との一体感を大切にした 3.5ha の広大な緑地を生み出します。四季折々の表情を見せる多種多様な樹木、水辺、広々とした芝生広場を整備し、憩いの場・イベントスペースなど様々なアクティビティにも利用できる豊かな空間の提供を目指します。

(3) 国内最大級のスケール・1フロア 1,500 坪のオフィスフロア

オフィスフロアは1フロア 1,500 坪の整形であり、お客様のニーズに応じた効率的かつ自由なレイアウトを可能とします。オフィスには、LED 照明、高性能 Low-E 複層ガラスなど省エネ性能に優れた設備を採用しています。また、色彩豊かな緑地や臨海・都心の眺望を活かした受付や応接室などのレイアウトも可能です。

(4) オフィスワーカーの幅広いニーズに対応するビジネスサポート機能

1階から3階にはバラエティに富んだ飲食店舗やビジネスコンビニを誘致する予定です。店舗からは緑地の眺めが広がり、都市の中にありながら心地よい潤いに包まれる空間を実現します。また、3階にはギャラリーやコミュニティホールを設置し、講演会や展示会、ワークショップなど、企業活動を支えます。アネックスにはクリニックの誘致も予定しており、オフィスワーカーを多方面からきめ細やかにサポートします。

(5) 国内最高水準の環境配慮型オフィスビル

光・風・水など貴重な自然エネルギーを効率よく活用する省エネルギーシステムを積極的に導入しており、環境負荷低減と快適な室内環境確保を両立します。DBJ Green Building「プラチナ」、都市開発版 SEGES 認定を取得いたしました。

また、東京都建築物環境計画書において、建築物の熱負荷の低減率 (PAL 低減率) 及び設備システム全体のエネルギー利用の低減率 (ERR) に関して、いずれも最高ランクの AAA (段階3) 評価を得ています。CASBEE 最高評価 S ランクも取得予定です。

(6) 国内最大級の免震構造と安心の 72 時間非常時電源供給

本ビルでは、万が一の大規模な地震による被害を最小限に抑えることのできる国内最大級の免震構造を採用しております。また、大規模災害による広域停電や断水などに備え、ビル非常用発電機や貯水槽を設置します。ビル非常用発電機は 72 時間対応とし、共用部への電力供給に加えテナント専有部へも約 10VA/m²の電力供給が可能です。これらにより入居企業の BCP を強力にサポートします。